

血糖コントロールの目標

糖尿病患者さんへのワンポイントアドバイス



糖尿病治療で大事なことは、合併症を起こさないようにすることです。

やみくもに血糖値を下げれば良いという訳ではありません。

低血糖によるリスクも考慮して、個別に目標を考える必要があります。

血糖やHbA1cの目標値は日本糖尿病学会で定められており、患者さんの年齢や状態、認知機能、飲んでいる薬やインスリンなどによって変わります。



自分の目標値がわからない時は
お気軽にお尋ねください





血糖コントロールの目標



糖尿病患者さんへのワンポイントアドバイス

血糖コントロール目標 NGSP値に統一

治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して個別に設定します。



※1 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。

※2 合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。

対応する血糖値としては、空腹時血糖値130mg/dL未満、食後2時間血糖値180mg/dL未満をおおよその目安とする。

※3 低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。

※4 いずれも成人に対する目標値であり、また妊娠例は除くものとする。



高齢者糖尿病の血糖コントロール目標(HbA1c値)

糖尿病患者さんへのワンポイントアドバイス



患者の特徴・健康状態 ^{注1)}	カテゴリーI	カテゴリーII	カテゴリーIII
	① 認知機能正常 かつ ② ADL自立	① 軽度認知障害～軽度認知症 または ② 手段的ADL低下, 基本的ADL自立	① 中等度以上の認知症 または ② 基本的ADL低下 または ③ 多くの併存疾患や機能障害

重症低血糖が危惧される薬剤(インスリン製剤, SU薬, グリニド薬など)の使用	なし ^{注2)}	7.0%未満		7.0%未満	8.0%未満
	あり ^{注3)}	65歳以上 75歳未満 7.5%未満 (下限6.5%)	75歳以上 8.0%未満 (下限7.0%)	8.0%未満 (下限7.0%)	8.5%未満 (下限7.5%)